

# 農林水産商工常任委員会資料

(平成21年9月15日)

## 項 目

- 1 ガイナーレ鳥取に対するバードスタジアム国際交流基金による支援等について  
【経済通商総室(企画調査チーム)】…………… 1
- 2 第3回県内中小企業の資金調達円滑化に向けた意見交換会の開催結果について  
【経済通商総室(経営支援チーム)】…………… 2
- 3 ロシア沿海地方における鳥取週間での「鳥取県物産展」開催について  
【経済通商総室(通商物流チーム)】…………… 3
- 4 第5回中国吉林・北東アジア投資貿易博覧会への出展結果について  
【経済通商総室(通商物流チーム)】…………… 4
- 5 境港・東海・ウラジオストク定期貨客船航路の運航状況等について  
【経済通商総室(通商物流チーム)】…………… 5
- 6 鳥取県ふるさとハローワークの開所時間延長について  
【雇用人材総室(雇用就業支援チーム)】…………… 7
- 7 ふるさと雇用再生特別交付金事業及び緊急雇用創出事業の予備枠の執行状況について(9/4現在)  
【雇用人材総室(雇用就業支援チーム)】…………… 8
- 8 鳥取県太陽光発電関連産業育成協議会の設立等について  
【産業振興総室(企業立地推進チーム)】…………… 12
- 9 平成21年度鳥取県経営革新大賞の表彰式開催及び経営革新計画の承認状況について  
【産業振興総室(新事業開拓チーム)】…………… 13
- 10 鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」の状況について  
【市場開拓局市場開拓室】…………… 14

商 工 労 働 部

## ガイナレ鳥取に対するバードスタジアム国際交流基金による支援等について

経済通商総室  
企画調査チーム

### 1 バードスタジアム国際交流基金による支援について（担当課：文化観光局交流推進課）

- (株)SC鳥取より本基金の管理団体である(財)鳥取市公園・スポーツ施設協会及び鳥取県知事、鳥取市長に対して、J2昇格要件を満たすための必要資金確保の協力要請がありました。(8月24日)
- これを受け、当財団から鳥取県知事に対してバードスタジアム国際交流基金の取崩しに係る協議がなされており、県としては同意の方針で手続きを進めています。
- 今後、4者（(財)鳥取市公園・スポーツ施設協会、県、鳥取市、(株)SC鳥取）で、資金面以外の昇格要件を満たした場合に、J2昇格要件を満たすための必要資金額7千万円を支援することを定めた協定書を締結予定。
- なお、本件は昨シーズンと同様の趣旨及び支援条件、支援額であり、昨シーズンは最終順位5位のため支援を行わなかった経緯があります。

#### \* 同意する理由

ガイナレ鳥取への支援は、バードスタジアム国際交流基金の目的に合致

（造成目的）バードスタジアムを活用し、サッカーを通じた子ども達の国際感覚の醸成と国内外への情報発信を行う。（平成7年造成）

（基金管理規定）県民・市民が一体となって、生涯にわたりスポーツを楽しみスポーツ活動に対する関心を高め、サッカーの競技力向上及び青少年の健全育成を図る。

### 2 ガイナレ鳥取応援団 バードスタジアム1万人プロジェクトについて

ガイナレ鳥取応援団では、多くの県民が一丸となりガイナレ鳥取を応援しJFL4位以内の確保を後押しするため、次のとおりプロジェクトを進めています。

県庁応援団ではこの取組に賛同し、1000人の職員家族等が観戦し声援をおくるよう取り組みます。

（対象ゲーム）「日本のまつり・2009鳥取スペシャルマッチ」

9月27日（日）13時 横河武蔵野FC戦《とりぎんバードスタジアム》

（主な取組内容）

- 選手サイン入りボールプレゼント(ガイナレ鳥取選手会主催、選手がスタンドに投げ込み)
- 選手とのツーショット写真プレゼント
- スタジアムグルメ
- 自由席チケット当日券1000円（大人）
- ユニホームスポンサープロジェクト自由席招待券引換対象ゲームに追加
- シャトルバス無料

### 3 元気な鳥取県産業振興プロジェクトによるPRについて

多くの県民に感動や楽しみを与え、ひいては県民の誇りとなる可能性をひめるガイナレ鳥取を多くの県民の皆さまに観戦していただくため、ホームゲームの告知等を実施します。

（所要額）3,900千円 （内容）民放各社による告知、告知チラシ作成等

### 第3回県内中小企業の資金調達円滑化に向けた意見交換会の開催結果について

経済通商総室  
経営支援チーム

昨秋の世界的な金融危機以降、厳しい状況にある県内中小企業の資金調達円滑化に向け、以下のとおり金融機関、商工団体など関係機関と意見交換を行いました。

1 日時 9月11日(金) 10:30~12:00

2 場所 とりぎん文化会館 第3会議室 (鳥取市尚徳町101番地5)

3 出席者(敬称略、順不同)

株式会社山陰合同銀行	代表取締役専務	長井 勇喜夫
株式会社鳥取銀行	取締役頭取	稲垣 滋
鳥取県信用金庫協会	会長	藤本 英興
株式会社日本政策金融公庫	鳥取支店長	多胡 藤夫
株式会社商工組合中央金庫	鳥取支店長	田畑 伸悟
鳥取県信用保証協会	会長	青木 茂
鳥取県商工会議所連合会	会長	八村 輝夫
鳥取県商工会連合会	副会長	山本 光命
鳥取県中小企業団体中央会	東部支部長	谷口 譲二
日本銀行鳥取事務所	所長	足立 登典
財務省中国財務局鳥取財務事務所	所長	木村 信次
鳥取県	知事	平井 伸治

4 主な意見交換の内容

#### 〔県内企業の景況〕

- 営業対象が県内か県外かにより、随分景況が違う。製造業は世界的な流れの中で、一気に回復可能性がある反面、県内小売業等では個人消費の慎重化等から回復は長期化。
- 今後、半年も同様の景況が続けば、さらに雇用に手を付けないといけない企業が出てくるのではと心配。

#### 〔県内中小企業の資金調達の状況〕

- 昨年度下期は、セーフティネット保証により大幅に融資が増加も、借換による返済負担軽減が中心。4月以降は落ち着いた状況。今後、年末にかけて資金需要への対応が必要。
- 県の借換資金利用が非常に多いが、受注戻り企業に対する適当な融資制度がなく、ニューマネー供給はタイムリー。

#### 〔金融機関・商工団体等の取組〕

- 金融機関、商工団体双方が、今後、県内企業の経営改善に対する連携支援を確認。
- 支店長等による全融資先訪問を実施し、融資先の状況把握と適切な支援を徹底中。
- 各企業の経営改善計画の策定・実行を支援。経費削減のほか、販路拡大・新分野進出のビジネスマッチングにも注力中。

#### 〔県からの関係機関への要請事項〕

- 県内企業の資金需要の下支えを金融機関等へ要請。
- 関係機関からいろいろなアイデアを出していただき、県としても支援していく。

## ロシア沿海地方における鳥取週間での「鳥取県物産展」開催について

経済通商総室  
通商物流チーム

ロシア沿海地方のより多くの方々に鳥取県をアピールすることで、本県の認知度を高め、ロシア極東地域との交流の促進、物流の活性化、観光客の誘客等につなげることを目的に、ウラジオストクにおいて「鳥取週間」と銘打ち、集中的なPRを行いました。

その一環として実施した「鳥取県物産展」では、鳥取県の農産物、食品、電気製品などの紹介と併せて観光PRも行い、販路開拓や観光誘客に繋がる取組を行いました。

1 期間 9月6日(日)～9月20日(日) (予定)

2 会場 ウラジオストク市 ギーペルマーケット  
(※ウラジオストクでもっとも大規模なスーパーマーケット)

### 3 オープニングイベント

9月6日(日) 16:00～16:30 屋外特設ステージ

- ・知事による二十世紀梨のトップセールスを実施。反応は上々。梨は2日間(9月5日、6日)で210個を販売。
- ・店舗前のイベント会場には多くの人だかりができ、買い物客の高い関心をよんでいた。

### 4 内容

#### ○鳥取県農産物フェア

- ・二十世紀梨の試食販売

#### ○鳥取カレーフェア

- ・食品コーナーにて鳥取グリコのカレーを試食提供

#### ○鳥取珈琲フェア

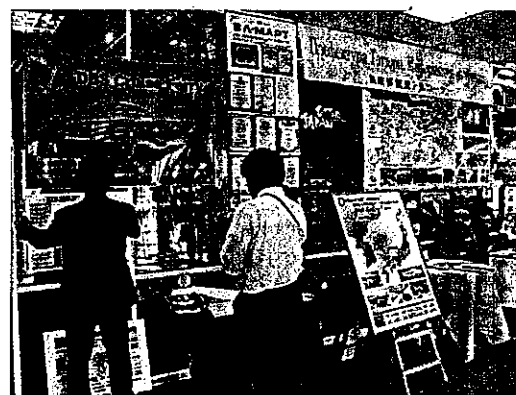
- ・珈琲商品(氷温完熟珈琲、氷温完熟珈琲ドリップ、ドリップバックコーヒー等)の試飲提供

#### ○鳥取県産品展示会

- ・展示商品/自動車部品(サスペンション、シフト部品等)、電化製品(炊飯器、ホームベーカリー、フットマッサージャー、ホットプレート)、ジーンズ製品、電動自転車

#### ○鳥取県観光展

- ・実施内容/パネル展示、ポスター展示、パンフレット配布、観光ビデオ放映、ノベルティ配布、環日本海貨客船航路のPR、ゲーム大会、アンケートの実施



※期間中には、別途、日本側企業とロシア側企業によるビジネスマッチングのための商談会も実施予定。

## 第5回中国吉林・北東アジア投資貿易博覧会への出展結果について

経済通商総室  
通商物流チーム

### 1 博覧会概要

- (1) 会期 平成21年9月1日(火)～6日(土) 6日間
- (2) 会場 中国吉林省長春市 国際会議展示センター
- (3) 主催 中華人民共和国商務部、中華人民共和国国家発展と改革委員会、吉林省人民政府
- (4) 規模 2, 200ブース 全体面積7.5万平方メートル
- (5) 来場者 博覧会実行委員会において集計中。(参考:2008年の一般来場者32万人)

### 2 県内からの出展企業

企業名	出展品目
サンライズ工業(株)	あと施工アンカーボルト
丸京製菓(株)	和菓子(どら焼き、焼きまんじゅう)
(株)内田スプリング大山工場	自動車用スプリング
(株)中井酒造	日本酒
(有)エー・オー・エヌ ケミカル	梨酢
(株)澤井珈琲	コーヒーパック、氷温甘熟珈琲、紅茶、トリゴネコーヒー
(株)ゼンヤクノー	はと麦茶、黒豆茶

\*吉林省との友好交流15周年を記念し、鳥取県ブースとして、鳥取県と吉林省との友好交流の取り組み状況や観光についてパネル展示するとともに和紙、陶器等の民芸品を展示して紹介した。また、鳥取県の物流をPRするため、環日本海貨客船航路や境港の定期コンテナ航路を紹介するパネルなどを掲示した。

### 3 訪問者

[行政] 副知事 藤井喜臣ほか

\*博覧会開幕式への出席、鳥取県ブース視察のほか、吉林省陳副省長等との会談を行った。

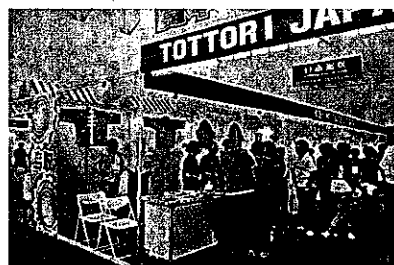
[民間] サンライズ工業(株)常務取締役、丸京製菓(株)代表取締役社長他2人、(株)内田スプリング大山工場常務取締役

### 4 出展等による成果

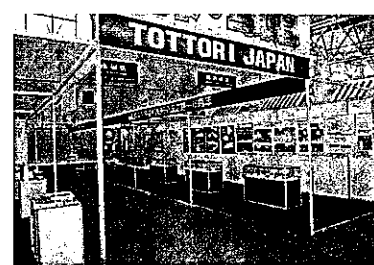
- ・博覧会に出展した企業のうち3社が社員も派遣し、現地企業を訪問するなど具体的な商談も行った。  
出展企業3社で9社と商談を行い、中国企業との商談を継続し、成約に向けて交渉中 4件  
現地の最高級百貨店から鳥取県物産展を実施してはどうかという提案もあった。
- ・展示商品に興味を示した現地バイヤーなど、商談シートへ自社企業等情報を記載して提出(186件)。  
ギフト用商品としての発注希望があり商談中  
今後、各出展企業が個別に接触する予定であり、鳥取県産業振興機構などがその支援を行う。
- ・出展企業の商品のみならず、鳥取県の観光地、工芸品等を多くの来場者にPRした。中でも法被、下駄、木彫りの十二支セットに対する来場者の関心が高かった。



開幕式(9月1日)



出展商品の説明を受ける来場者



友好交流15周年記念・取り組み等の紹介

### 5 今後の改善点等

- ・商品の出品だけでなく、現地での具体的な商談ができるよう可能な限り社員の派遣も働きかける必要がある。
- ・食品の安全性、健康に対する関心が高く、展示している製品の効能や特徴に対する質問も多くあり、十分な対応ができるように準備する必要がある。

## 境港・東海・ウラジオストック定期貨客船航路の運航状況等について

経済通商総室  
通商物流チーム

### 1 運航状況全般

- ◆ 8月31日現在で、境港～東海間を17往復、東海～ウラジオストック間を8往復。
- ◆ 延べ乗客数は11千人を超え、依然、東海～境港における韓国人ツアー客の利用が多い。
- ◆ 貨物については、依然厳しい状況である。東海～ウラジオの貨物は増加傾向にある。

### 2. 初就航からの運航実績（6月29日～8月31日）

<暫定集計>

項目	合計	境港～東海	東海～ウラジオ
運航回数（往復）	25.5回	17回	8.5回
乗客数（人）	11,359	10,519	840
平均乗客（人）	445	619	99
貨物量	24TEU（207トコンテナ換算）＋パルク貨物		

### 3 最近の主な動き

#### （1）旅客料金体系の見直し

9月1日より客室の等級区分を見直し、船内設備に応じた運賃に改定した。料金は全体的に引き上げられたが、等級区分の見直しにより一部引き下げされたものもある。

<主な変更内容>

- ・ロイヤルスイートの等級を「VIP」から「一等」に変更。
- ・ジュニアスイートとファミリークラスは、共に「一等」で同運賃であったが、ファミリークラスを「二等」とし、さらにベットとフロアで別運賃とした。
- ・最低運賃 境港～東海（片道） 8,000円→8,500円（改定）  
境港～ウラジオ（片道） 21,000円→22,000円（改定）

#### （2）知事とDBSクルーズフェリー社鄭泳太代表理事等幹部との協議

9月4日、知事訪韓の折に会談。知事より、DBS社の日本法人の体制強化と意思決定の迅速化、船内設備やサービスの改善、船内での鳥取県産品販売、船用品の県内調達等を要請。

#### （3）日本法人「DBSクルーズフェリージャパン(株)」の体制強化

9月10日、次長職1名を増員配置。

#### （4）境港旅客ターミナルにおける入国手続きの迅速化

9月3日、商工労働部長が法務省入国管理局に再度要望。入国審査官の増員対応など広島入国管理局が具体的な検討に入った。

### 4 鳥取県、江原道及び沿海地方の三地域が連携した航路活性化推進の取組

9月4日～10日の平井知事訪露・訪韓の際に、鳥取県、江原道及び沿海地方の知事により「鳥取県・江原道・沿海地方海運航路活性化推進協議会」の設置及び協議会において三地域が協力・推進していく内容等について合意がなされたことから、今秋、第1回の協議会を本県において開催する。（協議会の骨子については次頁参考）

### 5 利用促進に向けた今後の主な取組

#### （1）大阪商工会議所貿易部会会員の境港視察

10月15日、貿易部会の会員40名程度を対象に実施予定。境港のポートセールスや定期客船の船内見学などを行う。

#### （2）高松市における環日本海航路利用促進懇談会の開催

10月13日、環日本海経済活動促進協議会と連携し環日本海貨客船航路のPR及び意見交換等を行う。

『鳥取県・江原道・沿海地方海運航路活性化推進協議会』の骨子

1. 「鳥取県・江原道・沿海地方海運航路」を利用した地方政府間の観光、貿易、文化、スポーツなど全ての分野に渡る人的・物的交流を積極的に拡大し、「本海運航路」の安定的な発展のため多者間協力体を構成する。
2. 多者間協力体の公式名称は「鳥取県・江原道・沿海地方海運航路活性化推進協議会」（以下「推進協議会」という。）とする。
3. 推進協議会の会員は、会長（総括部署の長）と副会長、国際海運航路、国際協力、観光マーケティング、農産物・工業製品・水産物輸出入支援、広報、行政支援、民間協力などの分野別の関連部署長又はチーム長級で構成する。
4. 推進協議会の実践的活性化のために年1回定期会議を開催し、順序は鳥取県、江原道、沿海地方の順に巡回開催する。定期会議は開催地地方政府の推進協議会会長が主催し会議の開催経費を負担する。
5. 各地方政府の推進協議会会長の要請により臨時会議または各分野別に会議を開催することができ、この場合の開催地は会議を要請した地方政府とし、定期会議の巡回開催の順番に算入しない。
6. 推進協議会で推進する内容は次のとおり。
  - ・クルーズフェリーの寄港条件及び通関手続きの簡素化など受入態勢の改善
  - ・観光・物流・貿易（輸出入品や企業）に関する情報の交換及び共有
  - ・観光客集客・ポートセールス・博覧会・展示会・広報など共同マーケティングの展開
  - ・文化・芸術・スポーツ・教育分野の国際交流など政策的な需要創出
  - ・国際海運航路を利用する旅行会社、観光客、企業等に対するインセンティブ発掘・推進
  - ・海運航路の安定的な運営のための行政及び財政支援
  - ・本海運航路がTSRと連携できるよう貨物確保及び各種制約要素の解決案の準備

## 鳥取県ふるさとハローワークの開所時間延長について

雇用人材総室  
雇用就業支援チーム

鳥取労働局、県、地元市町が協力して八頭総合事務所、境港市役所に設置・運営している鳥取県ふるさとハローワークについて、利用者サービスの向上を図るため、9月1日より以下のとおり開所時間を延長することとしました。

### 1 開所時間の延長

(延長前) 午前9時～午後5時   ⇒   (延長後) 午前8時30分～午後5時15分

### 2 職員の増員

区分	増員状況	備考
国の相談員	3名 → 4名	職業紹介、職業相談等
県の支援員	2名 (3月1日に1名増員済み)	就職相談、出張相談等

### 【参 考】

#### (1) 施設概要

施設名	鳥取県ふるさとハローワーク八頭	鳥取県ふるさとハローワーク境港
設置場所	八頭総合事務所別館1階	境港市役所別館1階
開所日	平成20年4月1日	
運営管理	県	
機能	<b>【国】</b> 相談員による職業相談・職業紹介、求人情報自己検索機の設置 <b>【県】</b> 就業支援員による就職相談、職場定着支援、出張相談	

#### (2) 利用状況

		平成21年度 (8月末現在)			平成20年度		
		八頭	境港	計	八頭	境港	計
県	相談件数	976	1,331	2,307	1,640	1,613	3,253
	企業訪問件数	56	51	107	95	79	174
国	新規求職者数	521	993	1,514	886	2,166	3,052
	相談件数	3,527	3,118	6,645	5,201	6,859	12,060
	就職件数	194	311	505	275	672	947



ふるさと雇用再生特別交付金事業及び緊急雇用創出事業の  
予備枠の執行状況について（9/4現在）

雇用人材総室  
雇用就業支援チーム

ふるさと雇用再生特別交付金事業及び緊急雇用創出事業の県事業予備枠を活用して追加実施することとなった事業は、以下のとおりです。

1 今回報告事業（9月4日までに追加決定した事業）

○ふるさと雇用再生特別交付金事業

鳥取県ふるさと雇用再生特別基金（財源：国10/10）を活用した事業により、継続的雇用機会の創出を図るもの。現計予算額（県実施分）9億円。

○緊急雇用創出事業

鳥取県緊急雇用創出事業臨時特例基金（財源：国10/10）を活用した事業により、一時的な雇用機会の創出を図るもの。現計予算額（県実施分）5.86億円。

2 事業の内訳

(1) ふるさと雇用再生特別交付金事業

所属名	事業名	雇用創出人数		H21予算額 (千円)	事業内容
		21~23	21		
(商工労働部) 産業振興総室	バイオ関連人材育成プログラム開発事業	9	3	25,740	バイオ関連産業の集積を図るため、バイオ関連の人材育成プログラムを開発する。
経済通商総室	境港利用促進事業(ポートセールス委託事業)	6	2	16,000	境港を北東アジア地域との玄関口へ発展させる一助とするため、境港航路の利用促進・集荷活動を行う。
(農林水産部) 農政課	食のみやこ鳥取県ブランド商品開発・販路開拓業務委託事業	18	6	6,317	地産地消や消費者との交流等を推進するため、「食育バイザー」を配置し、農産物を使った健康的で豊かな食生活を提案する。
(教育委員会) 家庭・地域教育課	プロスポーツ選手との連携による子ども体験活動推進事業	3	1	2,672	子どもたちに、プロ選手とともに遊んだりすることを通して、多くの仲間と過ごすことの楽しさや大切さを体験させるとともに、ルールやマナーを身につけさせるなど健全育成を図る。
家庭・地域教育課	ケータイ・インターネットパトロール相談員配置事業	3	1	1,790	ケータイ・インターネットにおいて、出会い系サイトなどの有害情報、いじめやいやがらせなどの書き込みなどを継続的に監視する。
今回報告分計①		39	13	52,519	
報告済分②		304	102	399,050	
合計③(=①+②)		343	115	451,569	
県実施分現計予算額④				900,000	
残額(④-③)				448,431	

## (2) 緊急雇用事業

所属名	事業名	雇用創出人数		H21予算額 (千円)	事業内容
		21~23	21		
(文化観光局) 文化政策課	日本のまつり・2009鳥取県内PR強化事業	1	1	398	日本のまつり・2009大会の県内機運を盛り上げるため、きめ細かなPR活動を行う。
(福祉保健部) 福祉保健課	ハートフル駐車場利用証(仮称)交付等事務補助員 ・こころのバリアフリー推進事業 ・福祉・介護人材確保等実態調査	1	1	637	・ハートフル駐車場利用証制度を円滑に運用するため、利用証交付等業務を行う。 ・社会福祉事業者及び介護保険事業者等における人材確保の実態を把握するための調査を行う。
子育て支援総室	子育て王国創造事業(少子化対策等事務補助員)	1	1	888	少子化対策を検討するため、アンケート等を実施する。
医療政策課	女性医師就業支援事業	1	1	2,251	女性医師の就業支援を推進するため、女性医師サポートのためのシンポジウムを開催する。
喜多原学園	喜多原学園中卒者等学習強化事業	6	2	2,700	中卒者等に対して、学園内で中学までの学習内容をしっかり理解させるため、学習支援を行う。
(生活環境部) 景観まちづくり課	開発登録簿及び開発許可台帳電子化業務	1	1	782	都市計画法に基づく開発許可等に係る開発登録簿の閲覧等の利便性の向上を図るため、紙媒体で保存している簿冊を電子化する。
くらしの安心局 住宅政策課	県営住宅家賃納付指導・管理情報等電子化推進事業	2	2	2,021	県営住宅家賃納付指導・管理に関する効率的な業務遂行を図るため、手書きで保存している家賃等滞納者情報リスト・納付指導記録を電子化する。
くらしの安心局 住宅政策課	建築物耐震化推進事業	1	1	535	建築物の耐震化の推進のため、特定建築物台帳の電子化、時点修正及び特定建築物所有者等に耐震診断等の実施の働きかけ、助成制度説明等を行う。
(商工労働部) 産業振興総室	IT人材育成強化事業	1	1	2,222	IT人材の育成を強化するため、IT人材育成・強化に係る調整、企画立案、コーディネート等を行う。
(農林水産部) 農業大学校	農業機械指導員設置事業	3	1	1,415	就農をめざす研修生への研修を強化するため、農業機械に関する研修を充実する。
森林・林業総室	森林GIS情報充実化事業	2	2	1,755	森林GISシステムの効率的な運用のため、内路網の地図情報の取得と施業履歴の把握を行う。
水産振興局 水産課	水生生物とのふれあい促進事業	6	2	1,782	水生生物とのふれあいの機会創出の拡大を図るため、出前かっこ館を拡大実施する。
(日野総合事務所) 農林局	放置森林調査事業	5	5	3,750	低コスト林業を推進し、間伐の促進を図るため、森林スギ、ヒノキの人工林の所在を調査及び森林整備に向けた森林所有者の意見調整を行う。
(県土整備部) 県土総務課	用地事務補助事業	5	5	5,795	追加経済対策により増加する公共事業を迅速に執行するため、各総合事務所において用地事務の補助を行う。
技術企画課	技術管理文書データベース化事業	1	1	1,000	技術管理文書を各県土整備局から直接検索する体制を構築するため、過去に通知した文書のデータベース化を行う。
(教育委員会) 図書館	暮らしや地域活性化に役立つ図書館サービス普及強化事業	6	2	2,671	「くらしに役立つ図書館推進事業」を広く県民に利用していただくため、県内の地域や事業所、各種イベント等に出かけて普及啓発活動を行う。
船上山少年自然の家	専門指導補助員配置事業	3	1	1,030	船上山少年自然の家において、受入団体の施設利用のねらいが達成できるよう支援するため、活動補助などを行う。
大山青年の家	専門指導補助員配置事業	3	1	1,030	大山青年の家において、受入団体の施設利用のねらいが達成できるよう支援するため、活動補助などを行う。
(警察本部) 会計課	人事管理システムデータ入力業務	2	2	888	人事管理事務を効率化するため、既存の職員情報のデータベース化を行う。
会計課	暴力団情報入力原票作成等業務	5	1	740	暴力団情報の集約・整理・記録を迅速化するため、暴力団情報のデータベース化を行う。
会計課	ネットパトロール要員設置運営費	20	4	4,743	携帯電話等を通じた犯罪の被害防止と有害環境の除去を図るため、ブログ等の継続的な監視を行う。
今回報告分計①		76	38	39,033	
報告済分②		874	472	483,617	
合計③(=①+②)		950	510	522,650	
県実施分現計予算額④				586,000	
残額(④-③)				63,350	

## ○バイオ関連人材育成プログラム開発事業（産学金官連携チーム）

### 1 事業の目的

本県へのバイオ産業の集積を目指し建設に向けて取り組んでいる「とっとりバイオフィロンティア」において、バイオ関連企業の人材ニーズに応え、即戦力として活躍できるバイオ関連専門人材を育成して当該企業への就職等につなげるため、バイオ関連人材育成プログラムを開発するもの。

### 2 事業の概要

(財)鳥取県産業振興機構に人材育成マネージャー及び人材育成サブマネージャーを配置し、鳥取大学等と連携しながら、バイオに係る専門人材育成のための研修プログラム開発及び実証研修を行う。

【配置人員】 ・人材育成マネージャー（1名）

業務：研修プログラム開発及び実証研修の統括、研修講師

・人材育成サブマネージャー（2名）

業務：専門分野のプログラム開発、研修講師

【スケジュール】

平成21年12月～	採用、プログラム開発
平成22年度	実証研修
平成23年度	研修本格実施（バイオフィロンティア内）

### 3 研修プログラムメニュー（想定）

#### ①染色体工学技術スペシャリスト養成

染色体工学技術を利用した創薬研究や食品評価研究に携わる高度な専門人材を養成

#### ②バイオテクニシャン養成

遺伝子組換えや細胞融合等の専門的技術を有する人材を育成

#### ③動物飼育（管理）者養成

実験動物を管理飼育する人材の養成

#### ④バイオビジネスマインド育成（社会人コース）

バイオ実務を数年間経験した社会人を対象に、経営面の知識や戦略、バイオ技術の動向等を学び、新しいバイオビジネスを創造できる人材を養成

## ○境港利用促進事業（ポートセールス委託事業）（通商物流チーム）

### 1 事業の概要

環日本海定期貨客船航路の就航を契機に、今後、境港は北東アジア地域への玄関口として発展することが期待される場所であるが、その推進のためには、特に、安定した貨物の確保が重要であり、官民を挙げたポートセールス活動の一層の充実を図る必要がある。

そのため、ふるさと雇用再生特別交付金事業を活用し、境港のPRを含めたポートセールス業務を臨時的に民間企業に委託し、官民一体となった取組を充実させるもの。

## 2 委託する業務の内容

地域求職者2名を新たに雇用し、既存従業員1名とともに、境港に寄港する定期貨物航路の利用促進・ポートセールス活動を行う。

### <主な業務内容>

- ・新規の有力企業や既存の大口荷主企業等への境港のPR、セールス活動
- ・商社、貨物事業者など物流関係企業への境港のPR、セールス活動
- ・県内外を問わず、幅広く関係企業を訪問。

## 3 委託先

境港において、貨物代理店、荷役業務を行っている民間企業を想定。

<理由> ・貨物獲得に繋げるための企業訪問の実施にあたっては、境港の港湾施設、航路を熟知し、貿易業務にも精通している必要があるため。

## ○IT人材育成強化事業（新事業開拓チーム）

### 1 事業の概要

県内のIT人材の育成強化ニーズを踏まえ、所要のIT人材育成強化の立案、コーディネートを社団法人鳥取県情報産業協会に委託。

### 2 委託内容

IT人材育成強化業務を社団法人鳥取県情報産業協会に委託し、できる部分から人材育成強化を進める。

- (1) 委託期間 平成21年10月2日～22年3月31日の6月以内を予定
- (2) 委託内容
  - ・ IT人材育成・強化に係る調整、企画立案、コーディネート、実施等

### 3 雇用する者について

#### (1) 必要性

○上記のとおり業務委託先として同協会が最も妥当と判断できるが、会員は各企業の代表者や経営者等であり、会員のみで業務に関する諸実務（後述の想定業務参照）を行うことは困難。

○会員企業が有する専門的知識や技能、ノウハウに加えて、諸実務を行うスタッフを確保することにより、より質の高い人材育成が可能となる。

#### (2) 必要とされる人材

一般的な事務遂行能力に加えて、情報通信に関する知識、技術、ノウハウ及び人材育成に係る同様のスキルを有していることが期待される。

#### (3) 想定業務

人材育成に係る関係者間の調整、カリキュラム作成、研修のコーディネート、実施等

#### (4) 必要人員

1名（配属東部地区予定）

## 鳥取県太陽光発電関連産業育成協議会の設立等について

産業振興総室  
企業立地推進チーム

今後、市場規模の拡大が期待されている太陽光発電関連産業について、県民の皆さんに広く知っていただくためセミナーを開催するとともに、企業誘致の推進、大学等と連携した県内の企業の新規参入支援や技術者を対象とした人材の育成に取り組むため「鳥取県太陽光発電関連産業育成協議会」を設立しました。

### 1 鳥取県太陽光発電関連産業育成セミナー

- (1) 日 時 9月2日(水) 午後1時30分～3時10分  
(2) 会 場 ウェルシティ鳥取 砂丘の間(鳥取市扇町)  
(3) 講演内容

#### ①「太陽光発電の将来とビジネスチャンス」

講師：(独)産業技術総合研究所太陽光発電研究センター  
研究顧問 小西 正暉 氏

※キャン(株)で開発・製造・事業(レンズ事業や太陽電池事業等)を担当。現在、産業技術総合研究所太陽光発電研究センター研究顧問、日本太陽エネルギー学会理事、徳島大学創成学習開発センター客員教授。

#### ②「長州産業の事業戦略」

講師：長州産業株式会社 取締役社長 岡本 要 氏

※長州産業株式会社

本社は山口県山陽小野田市。住宅関連分野から最先端の半導体・エレクトロニクス分野まで技術の独創性を生かしグローバルに事業を展開。シリコンの精製、太陽電池モジュールの製作等太陽電池パネルの一貫体制を構築。

- (4) 出席者 131名

### 2 鳥取県太陽光発電関連産業育成協議会

- (1) 日 時 9月2日(水) 午後3時30分～5時  
(2) 会 場 ウェルシティ鳥取 砂丘の間(鳥取市扇町)  
(3) 構成  
(会 長) 財団法人鳥取県産業振興機構理事長 金田 昭  
(顧 問) (独)産業技術総合研究所太陽光発電研究センター 研究顧問 小西正暉

県内企業	太陽光関連産業への新規参入等に意欲のある企業(24社)
関連企業	中国電力(株)鳥取支社
学術機関	鳥取大学産学・地域連携推進機構、鳥取環境大学、米子工業高等専門学校
産業支援機関	(財)鳥取県産業振興機構、(地独)鳥取県産業技術センター
行政機関	市町村(8市町)、鳥取県

#### (4) 開催内容

○上記のセミナー講師との意見交換

- ・太陽光発電関連産業について、どのような分野に新しいビジネスがあるのか、鳥取県の強みは何か等についてセミナー講師と意見交換を実施した。

○分科会の設置及び平成21年度事業計画等について

- ・「新規参入可能性検討部会」、「普及啓発・人材育成推進部会」、「企業誘致検討部会」を設置し、平成21年度末を目途に検討を進めることを決定した。

## 平成21年度鳥取県経営革新大賞の表彰式開催及び経営革新計画の承認状況について

産業振興総室  
新事業開拓チーム

経営革新計画に取り組んだ企業のうち、優れた成果を収め、他の模範となる企業を表彰しました。表彰企業等及び最近の経営革新計画の承認状況は以下のとおりです。

### 1 表彰の概要

#### (1) 表彰の目的

- ・経営革新計画を終了した県内企業のうち他の模範となる企業を顕彰し、広く周知する。
- ・計画未策定企業に対し計画策定の取り組みを促す。
- ・計画承認企業に対し計画推進の動機付けを行う。

#### (2) 表彰式 平成21年9月13日(日) @とりぎん文化会館第1会議室

#### (3) 表彰企業等

区分	表彰区分	H21受賞企業
知事表彰	経営革新大賞(グランプリ)	株式会社ササヤマ〔鳥取市〕
	技術革新賞	山陰酸素工業株式会社〔米子市〕
	市場開拓賞	光電気通信システム有限会社〔米子市〕
	地域貢献賞	株式会社ゼンヤクノー〔鳥取市〕
特別表彰 (知事表彰の趣旨に御賛同頂いた関係機関による表彰)	中国経済産業局長賞	ソンス株式会社〔鳥取市〕
	TKC全国会鳥取県支部長賞	マリアージュ ミネル〔米子市〕
	(社) 中小企業診断協会鳥取支部長賞	株式会社ヒカリ工業〔米子市〕
	(財) 鳥取県産業振興機構理事長賞	株式会社ジーアイシー〔倉吉市〕
	(地独) 鳥取県産業技術センター理事長賞	有限会社米村木工〔鳥取市〕

審査対象企業・・・計画承認企業333社(H21.8.31現在)のうち、平成20年4月から21年3月までに計画を終了した企業39社

#### (4) 事例発表会 表彰式後、知事表彰受賞4社から取組のポイント、成功の要因等を発表

### 2 平成21年度(8月まで)経営革新計画の承認状況

平成21年度8月までに以下のとおり承認を行ないました。県内経済の活性化及び雇用の確保のため、計画の承認をはじめ、新商品開発、販路開拓、人材確保等の様々な面から計画の実施を支援しています。

平成21年度経営革新計画承認件数(H21.8.31現在)

(単位:件)

地域	製造業	卸売・小売業	サービス業	建設業	飲食店・宿泊業	その他	合計
西部	2	1	0	2	2	0	7
中部	0	0	0	1	0	0	1
東部	1	1	2	2	2	0	8
合計	3	2	2	5	4	0	16

※昨年の同時期(7件)比で2.3倍

#### 【参考】経営革新計画について

「経営革新計画」とは、法に基づき県等が承認する、新商品の開発などの取り組みと具体的な数値目標を含んだ3年から5年のビジネスプラン。承認を受けると、経営革新支援補助金(当県独自)、政府系金融機関の低利融資等の支援措置の対象になる。

## 鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」の状況について

市場開拓室

鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」の状況について、報告します。

### 1 オープン一年のアンテナショップ効果

〈情報発信〉

- ・オープン以降、全国放送のテレビ番組、雑誌等に合計208件（9月7日現在）取り上げられ、鳥取県産品の認知度向上、鳥取県のPRに寄与

【主なもの】

テレビ番組：TBS「知っとこ」・「はなまるマーケット」、フジテレビ「めざましテレビ」・「とくダネ！」

雑誌：週刊文春、家庭画報、日経トレンドイ、東京ウォーカー、日経グローバル

- ・都内の商店街（戸越銀座商店街・新橋商店街）等が開催するイベント等にアンテナショップが出店し、鳥取県産品をPR

〈販路開拓〉

- ・県産品約40商品（約20社）が、アンテナショップをきっかけに取り扱い決定又は商談中

健康食品を中心に展開するネット通販に県内の健康食品の採用が決定

都内金融会社のギフト商品として、洋菓子の採用が決定

都内高級料理店で鳥取和牛・トトリコ豚・地酒・梨シャーベットの採用が決定 など

〈情報受信〉

- ・アンテナショップで収集した情報を県内事業者に伝達し、新商品開発や商品改良に取り組んだ事例が生まれた。

新橋の会社員のニーズを反映したイカのおつまみの開発

首都圏の消費者の嗜好に合わせて塩らっきょう漬けの開発

持ち運びしやすい少量のパッケージの開発 など

- ・県内でアンテナショップ報告会の開催、地元ラジオで物販店舗店長による首都圏情報の伝達する番組を放送、アンテナショップスタッフが直接、産地を訪問し意見交換する場を設けるなど、アンテナショップで収集した情報を県内事業者に伝達する機会を提供
- ・県内事業者がアンテナショップに出向いた試食販売イベントなどを開催することで、直接、首都圏の消費者のニーズや意見を把握する良い機会となっている。

〈地域活性化〉

- ・産直野菜をアンテナショップに出荷している産地の皆さんが首都圏で評価されることで、新たな品目（イタリア野菜など）の栽培に取り組むなど、産地に活気をもたらしている。

〈その他〉

- ・県内の中高生が販売体験や地元地域のPRを行い、体験学習の場として活用

### 2 アンテナショップ開店1周年記念イベントの開催結果について

(1) 期 日：8月29日（土）・30日（日）

(2) 内 容：来場者先着100名様に「新甘泉」をプレゼント（29日・30日）

29日は平井県知事、株式会社パリス倉吉の名越社長、とっとりふるさと大使の佐々木エルザさんによる来場者プレゼントを実施

〈物販店舗〉

鳥取県の消費量日本一の商品（梨・ケチャップ・レトルトカレー）の特売、トットリーネオリジナルスイーツの限定販売 など

〈レストラン〉2日間限定コースメニューの提供（昼・夜各30食限定）

(3) 結 果：〈物販店舗〉29日の売上げが1日の売上げとしては、過去3番目の売上げを記録

〈レストラン〉29日は、予約でほぼ満席

### 3 アンテナショップ報告会及びJANコード説明会の開催について

(1) 期 日：9月25日(金) 午後1時～4時

(2) 場 所：中部総合事務所講堂

(3) 内 容：〈アンテナショップ報告会〉

アンテナショップで収集した様々な情報(消費者・実需者の声など)を県内事業者に伝達  
 〈JANコード説明会〉

量販店等に販路開拓する際に必要となるJANコード(商品識別をするためのバーコード)  
 の取得方法などをわかりやすく解説

(4) 対象者：県内事業者、市町村、農林商工関係団体、金融機関、県等

### 4 運営状況

(1) 来客実績(8/29(金)から8/31(月)まで)

区分	物 販 店 舗				レ ス ト ラ ン		
	買物客数	営業日数	売上高(千円)	催事売上高(千円)	来店客数	営業日数	売上高(千円)
8月	2,117名	3日	2,701	73	149名	2日	900
9月	8,404名	30日	10,176	227	2,321名	24日	6,265
10月	5,204名	31日	6,383	100	1,972名	26日	6,441
11月	4,657名	30日	6,244	145	1,943名	24日	7,504
12月	4,646名	30日	7,191	147	2,061名	25日	8,151
1月	3,653名	28日	4,844	0	1,713名	22日	7,162
2月	4,431名	28日	6,597	114	1,649名	23日	6,846
3月	4,550名	31日	6,093	0	1,689名	25日	6,823
4月	4,737名	30日	5,925	62	1,731名	25日	5,925
5月	6,309名	31日	7,590	87	1,822名	23日	6,410
6月	6,159名	30日	7,701	212	2,203名	26日	7,489
7月	6,206名	31日	7,700	181	2,092名	26日	7,345
8月	7,483名	31日	8,198	108	2,268名	27日	7,804
累計	68,556名	364日	87,343	1,456	23,613名	298日	85,065

注) 催事売上高は内数

(2) 8月の人気商品・メニュー

物 販 店 舗		レ ス ト ラ ン		
1位：大山ソフトクリーム	380円	ランチ	週替わりパスタセット	1,000円～
			サザエカレー	1,000円
2位：吾左衛門鮓 鯖	1,774円	ディナー	月替わりトトリコース	4,200円
3位：打吹公園だんご	900円(10本) 500円(5本)	/		
4位：砂丘らっきょう漬(ピリ辛)	1,050円			
5位：砂丘らっきょう漬(甘酢)	1,050円			



一周年記念イベントの様子